



黄金岬キャンプ場



ファンタジックな冬のケアラシ



黄金岬で遊ぶ子供たち



海のふるさと館



黄金岬の岩場

黄金岬は、日本海オロロンライン随一の岩礁海岸。この海に沈んでいく夕陽の美しさは日本一だといわれ、夕陽の名所として北海道百選に選ばれました。

昔の黄金岬は、丘陵地帯がそのまま海に落ちた断崖だったといわれ、当時、増毛方面からやって来る人々は道もなく、激しい波が押し寄せるこの岬を避け、丘を通り留萌川沿いに市街（現在の大町）へ向かったといわれています。ゴツゴツとした岩が点在す

る現在の岬は、明治の末から始まった港湾修築作業で土台採石のため断崖を削り取ってできたものです。港湾修築後は磯遊びに恰好な場所として親しまれてきました。

さざ波が打ち寄せる岩場は天然のプールとなり、小ガニや小魚と遊ぶことができ、夏は家族連れなど多くの人々が訪れ、海の香りを満喫しています。また、岬には駐車場とともに芝生が美しい公園もあり、夕陽を見るロマンティックなロケーション作りにも役買っています。更に、今年

は市民からアイデアをいただいてつくった岩場の散歩道として、海のふるさと館や海面を幻想的にうかびだすために多くのライトを使ってライトアップをするなど、夜景も楽しめる岬に変わりました。夜の名所が、また一つ増えました。

黄金岬のもうひとつの顔はスコットランドのウイック、インドのマドラスと並ぶ波濤の厳しさ。冬の黄金岬沖は世界三大波濤のひとつにかぞえられています。その波の激しさに、日本一大きなテトラポットと防波堤すら位置がずれてしまうほどです。

また、冬の黄金岬には「けあらし」と呼ばれる不思議な現象が起こることも忘れてはいけません。気温より海水の温度が高いために、水蒸気が蒸発して濃霧になるめずらしく、ファンタジックな現象で冬の期間のうち、数日しか、お目にかかることができない現象なので、このファンタジックな現象を見た方は、幸福な人もかもしれません。

黄金岬は、四季を通じて、私たちの心を奪い、何度行っても新しい感動や経験をあたえてくれます。

黄金岬は、私たちの貴重な財産でもあり、心のふるさとでもあります。

また、黄金岬に心を奪われに行ってみませんか。



南防波堤から黄金岬を望む



黄金岬から見る夕陽は日本一

黄金伝説の里

**黄金岬の
落陽に心を奪われ
波濤に足をすくませる。**

荒れた冬のイメージが強い日本海も、夕陽が落ちるころにはおだやかで美しい表情を披露してくれる黄金岬。市民に親しまれている黄金岬が、さらにグレイドアップしました。

岬公園から黄金岬を望む